



缶サット甲子園 2022 和歌山地方大会で優勝!!

7月16日(土),17日(日)に缶サット甲子園2022和歌山地方大会が和歌山市立青少年国際交流センターとコスモパーク加太で開催されました。本校のミッションの概要は、地震の際に立ち入ることの難しい場所へローバーを遠隔操縦し、ガス漏れがないか調査するというものです。今回はロボカップジュニア世界大会でタイのバンコクにいる生徒がインターネットを介してコスモパーク加太のローバーを遠隔操作し、加太の情報(位置情報やガスの有無等)の取得しました。



SSH 先端科学講座「社会で役に立つ化学」

7月19日(火),2年生環境科学科生徒を対象としたSSH先端科学講座を実施しました。近畿大学教授の財津桂先生にお越しいただき「社会で役に立つ化学」と題して、質量分析や科捜研などについて話していただきました。財津先生、本当にありがとうございました。以下、生徒の感想です。『科捜研という言葉はよく聞くけど、どんな仕事内容なのか知らなかったの、知れてよかったです。』『科学捜査研究所という警察の捜査の中でも、私たちが高校で習っている化学がたくさん利用されていることが分かり、驚きました。グループワークで実際に事件の捜査を追ってみると、薬学や化学の知識がないと分析結果の違和感に気づけないことも分かりました。』『化学の知識が思った以上に身近な世界で使われていることに驚いた。私は化学がすごく苦手な化学を勉強する意味がずっと分からなかったが、この講義を聞いて化学の大切さや面白さに少し気付けたと思う。』『高校卒業後、薬学部に進学したいと思っていることもあって、実際の科学捜査研究所と同じようなグラフを使ったグループワークは本当に楽しかったです。薬剤師もいいですが、科捜研での仕事にも興味が湧きました。』『前にノーベル賞について調べたとき、質量分析が出てきました。「何だろう?」と思いながらも調べていなかったの、今回この講義で学べてよかったです。』『高校で学ぶ化学が社会に出ても役立つ、役立っていることにとても驚いた。高校で学ぶ学問は大学で学ぶ高度なもの比べて浅く、高校で学んだことは実際あまり役に立たないと思っていた。そういった思い込みが間違っただと気づかされてとても新鮮な気持ちになった。高校で勉強することを大切にしていきたいと思った。』

